廃棄消防資器材等におけるアップサイクルの実施

様式１

宇都宮市 Utsunomiya City

１　求める提案・分野

・　廃棄消防資器材等によるアップサイクル品の検討及び製作，管理・販売方法についての提案
・　上記作業過程において，障がい者の就労支援と市の財源創出を含む

分野（あてはまるものに☑）

☐ Ⅰ．子育て・教育
☐ Ⅱ．健康・福祉
☑ Ⅲ．安全・安心
☐ Ⅳ．魅力創造・交流
☐ Ⅴ．産業・環境
☐ Ⅵ．交通

廃棄消防資器材等におけるアップサイクルの実施

様式１

宇都宮市 Utsunomiya City

２　現状・課題

- 　消防局では，毎年，耐用年数を経過した防火衣や消防用ホースなどの消防資器材を計画的に更新・廃棄している。
- 　このような中，消防資器材等の廃棄については，産業廃棄物の大量処分といった課題があり，この課題に対し，SDGsの観点から，不要になったものをただ捨てるのではなく，新たな価値を加えて再利用するアップサイクルの視点で取り組みを行う必要がある。

３　今後の展望（ステップ）　→　ゴール

- **（令和７年度）　意見交換（アッサイクル品の検討・製作，管理・販売方法等）**
  →　アップサイクル試作品作成
- **（令和８年度～）アップサイクル品販売開始**

ゴール：消防アップサイクル事業による障がい者の就労支援と市財源の確保

廃棄消防資器材等におけるアップサイクルの実施

様式１

宇都宮市 Utsunomiya City

４　市（主に所管課）の特徴・強み

・　市消防局として，毎年定期的に消防用ホース６０本程度，防火衣１５着程度を廃棄しており，素材としての供給量が安定している。
・　耐火性・耐久性が高い上，加工しやすい素材である。

５　実施スケジュール（あてはまるものに☑）複数回答可

☐ 未定
☑ まずは相談・意見交換をしたい
☑ 実証実験等をやりたい
☐ 今後，予算化を検討
☐ その他（　　）